

サルビア

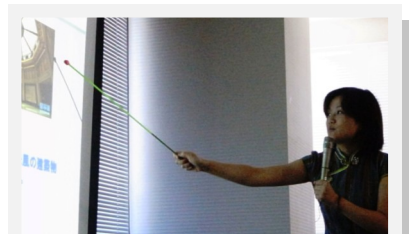
NEWS

発行

財四日市市まちづくり振興事業団
四日市国際交流センター

平成22年度も四日市国際交流センターでは日本語サークル、イベント、外国語講座、その他事業を通して、たくさんの出会いがあり、そして絆が生まれました。

生まれた『絆』を大切に、これからもずっと長く、深めていきたいと思ひます。



Contents

P. 2~P. 3

22年度イベント

P. 5

『学習者とのおもしろエピソード』
『のぞき見☆外国語講座』

P. 4

『好きな日本語は何ですか？』
『私たちこんな風に学習しています』
『日本語サークル卒業後』

P. 6

トリオ『ロングビーチへ行ってきました』
Y I Cから世界へ
編集後記

4/25

Coffee Break『アメリカ合衆国』



アメリカ出身のAngelica Walkerさんが、ご出身のワシントン州の自然や生活について、英語で紹介しました。またその後のティータイムでは、皆の交流を深めました。

スピーカー:
Angelica Walker さん

去年の4月、私はワシントン州についてプレゼンテーションをしました。たくさん人が来ました。本当にびっくりしました。きんちょうしたけど、いいいけんだと思います。



Angelicaさん(中央)

Last April, I gave a presentation about Washington State. I was surprised by how many people came to listen. It made me very nervous, but was a great experience.

6/13

国際理解講座『泣いて笑ってマダガスカル』



国際交流センター職員中西葉子が日本語で話す、マダガスカル青年海外協力隊体験記。涙あり、笑いあいのびっくりマダガスカル話に会場は大いに盛り上がりました。

ボランティア:
佐藤 奈津美 さん

1番心に残ったのは「100万円 あったら何をやる？」という中

西さんがした質問に対して、マダカスカルの村人の答え「塩と米を買ったらなくなっちゃうよ」の言葉でした。物のあふれる日本では、考えられない返事ですね。こんな現地の生の声が聞けるのが1番の魅力だと思います。綺麗な海とバオバブの木、マダカスカルの魅力がたくさん伝わった、素敵なイベントでした。

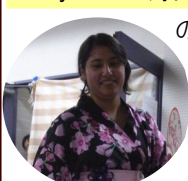


8/1

日本文化探訪シリーズ①ゆかたでGO！

YICボランティアの浅沼よし子さんを講師に迎えてのゆかた着付体験。参加者みんなで協力し合いながら着た浴衣を、大勢の観客の前で披露したファッションショーもドキドキでした。

参加者:
Valery Farfán 野内 さん



きつけはかんたんそうに見えて、たくさんの方がまちがえました。きつけのとき、いろいろとトラブルはあったけど、ゆかたショーなどして、とても楽しかったです。

Fue muy divertido, hubo desfile del kimono que vestimos. En el momen-

to que nos vestimos hubo varios problemas, muchos nos equivocamos, aunque la explicación parecía sencilla.



5/23

国際理解講座『インド』



ティータイム。そしてインドの自然、文化、日常生活について、インド出身のJay Nairさんに英語でお話をうかがいました。



Jayさん

参加者:
伊藤 正英 さん



日本とインドの歴史、文化、社会の違いについて、いろいろな意見を交換しました。講師のJayさんとは4年を超えるお付き合いで、日本語の勉強以外に、私の町で同様の講演をしていただいたり、家族ぐるみの食事会、ゴルフなどを通して、いろいろな交流を深めています。日本の自然、奈良・京都の風景、盆栽などわびさびを理解できる異色の理学博士です。

展示『なるほど天津展』

6/13 ~30

四日市 - 天津友好都市提携30周年を記念して、一般市民からみた天津市を紹介。天津市を身近に感じられたイベントでした。

YIC イベ

平成22年度は14のイベントを行いました。ご参加いただきました。今年度の視点から振り返りました。



8/21

ルール 知って得する日本の 掟

四日市市役所生活環境課職員を講師に迎え、ゴミの出し方や分別についてのレクチャーと意見交換会。母国のルールとの違いに驚きが止まない参加者の皆さんでした。

参加者:
玉村 蘭子さん

私の国ではごみを捨てる時、分別していません。清掃工場で分別します。日本のように自分で分別した方が、ごみが減って環境にもいいと思います。環境のために皆さんルールを守ってください。

在我的国家，扔垃圾时不用自己分类，由垃圾工厂集中分类处理。

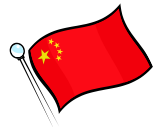
我认为，日本这种自己分类垃圾的做法，很环保。希望大家都能来学习，美化环境。



ゆかたでGO!に参加した
玉村蘭子さん(右)

9/26

国際理解講座『上海』



上海出身の連漾さんが、上海の婚活事情や男女の関係、生活について日本語で紹介しました。テレビや雑誌では知ることのできない生の話に、参加者は皆熱心に耳を傾けていました。

スピーカー:
連 漾 さん

上海出身であるものの、生活の中心を日本におく自分がうまく説明できるのか、初めは心配でした。しかし調べていく中、自分も故郷の過去、現在、未来について理解を深めることができ、またそれを四日市の皆様と共有できたことをうれしく思います。

我虽说是上海人，近年生活重心却在日本。当接到有关“上海”的演讲委托时，我有些不安。但在寻找演讲素材的过程中，我加深了对自己故乡的了解，并且很高兴能通过自己的演讲与四日市的市民共享。



イベント

い、のべ1,000人を超える方々にYICイベントをさまざまな人の

10/31

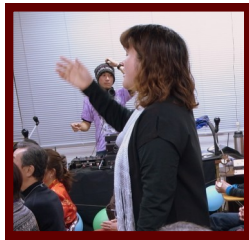
~12/12

YIC Gospel

公募で集まったメンバーが、10月31日から7回にわたって練習しました。楽譜なしで覚えるというスタイルにとまどいつつも必死で取り組むメンバーの熱い姿は本番のウィンターパーティでも感動を呼びました。

講師:
鈴木 文子さん

ゴスペルを歌うのは初めてという方ばかりでしたが、熱心に練習していただいたおかげで、心一つになり、ワンボイスで楽しく歌うことができました。本番が一番良い出来だったと思います。皆様のご協力に感謝しています。



12/12

YIC Winter Party

ボランティアさんや利用者の声を聞きながら実行委員会が主体となって企画、運営した当事業。世界の食べ物、歌、踊りをみんなで楽しみました。

実行委員長:
船橋 利男 さん

皆で楽しみたい。それが今回のパーティーの目的でした。慣れない準備作業に戸惑った事。多くの支援者に助けられた事。皆で協力して準備した事。当日来場してくれた人達の笑顔。その全てに感動しました。ありがとう。



10/10

YICテニスディ

当日の朝まで降り続いた雨で、開催が危ぶまれましたが、参加者の想いが天に通じ、イベント直前には爽やかな秋晴れに。テニスレッスン、ゲーム、レクリエーションと元気にスポーツを楽しみました。

講師:

山下 勇 さん

1994年4月以来10年間続いた湯ノ山のテニスコートから、今回初めて中央緑地公園に移して開催。生まれて初めてラケットを握る人、相当経験がある人、そして毎年のように参加されている見慣れた顔……前夜の雨が上がり快晴となった緑に囲まれたコートで、一日中カー杯ラケットを振り回して楽しみました。



10/31

おしゃべりカフェ

今年度新企画として登場した『おしゃべりカフェ』。国籍を越えた友達づくりとして、5か国から11人が参加しておしゃべりを楽しみました。

参加者:

秋月 亨 さん

「あなたの国はどこ?日本からは遠いね」など、世界地図を広げてお茶を飲みながら、おしゃべりしました。最近フランス語を始めた私は、コンゴのギギさんにフランス語で話しかけてみました。彼は親切に丁寧な日本語で私の間違いを直してくれました。メルシーボク!

参加者:

Guillain Kambaleさん

文化や伝統が違ふと、コミュニケーションの取り方も違ふ。出身国の違ふ参加者たちが集まった「おしゃべりカフェ」は、まさにそのことを気づかされる経験でした。お互いを理解し合うこと、言葉で表現することの難しさをあらためて感じました。

Dans un nouvel environnement, on éprouve des difficultés pour exprimer ses idées à cause des divergences culturelles ou traditionnelles. Tel a été mon expérience lors de la séance de "causérie et partage" où quelques personnes d'origines différentes s'étaient réunis. Ici on essaie de s'ajuster les uns aux autres.



1 / 23

日本文化探訪シリーズ②新春かきぞめ大会

日本の伝統文化である書道を、難しく堅苦しいものではなく、自分の気持ちを素直に表現できるものとして体験してもらいました。参加者はその時に思い浮かんだ言葉を、心をこめて表現していました。

講師:

大宝 美子 さん

『かぞく』や『愛』などたくさんの気持ちをこめて描かれた作品を手を発表する参加者のイキイキとした表情に感動しました。

今後も、日本文化をたくさんの人に広めていきたい。そう強く思った時間でした。



中央:講師の大宝さん

あなたの好きな日本語は何ですか？

日本語学習者にたずねたところ、多くの人が「**ありがとう**」と答えました。その他にも興味深い言葉がたくさん挙げられました。その一部を紹介します。

をもちがよくなって、**げんき**になるから
アニシモフ ダニイル(ロシア)

聞いた時に気持ちよくなるから
吉田 マイ(ベトナム)

はじめて、こどものおべんとう つくった ときに
まま「ありがとう」ってくれた、あのときが いちばん
うれしいです！
佐々木 ジョアン(フィリピン)

ニコニコあたたまることば。
趙 旭詰(中国)

“**あ り が と う**”

感謝の気持ちを伝えられるから。
クロトバ アンナ(ロシア)

された方の人も気持ちがいいし
する方も気持ちがいいと思います。
フロコフェバ アレクサンドラ(ロシア)

1.たくさん使うことばだから 好になりました。
2.ありがとうのイントネーションが色々あって、おもしろいと思いました。
申 順任(韓国)

あっ かわい さま
3, じに 1日があわってほんととできるから。
北村 スワイミン(ミャンマー)

るいさ ちぎゅう
まつだ せいごさんの
おんがくが すきだから...
Paulo Hiroshi Kishimoto(ブラジル)

きゅうりょう
こどもを“こう”にいかせるため(にあ)かぬが
ひょうた”から Chhetri Shobha(ネパール)
Chhetri Khom Bahadur(ネパール)

我慢
とても大事な言葉です。
I think.
It is the essence of the Japanese spirit.
日本の精神の一つだと思う。
Jennifer Chow(アメリカ)

ふくふくろ
It's fun to say & a treat inside! ☺
言うのが楽しいし、中身はお楽しみ。
Lauren Brown(アメリカ)

あいしてる愛
誰かに愛しくさう言っていると
ころが、いいかんじになる
Torres Sergio Miguera(ペルー)

一期一会
人生の中で各々の経験が大切な物です。
Angelica Walker(アメリカ)

耳をすませば
この言葉を聞くと、感情を自由に開放することができて、心の旅のようです。
また、大好きな宮崎さんのアニメも思い出します。
田 媛(中国)

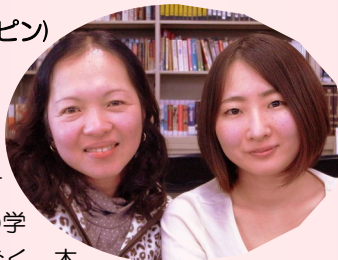
時代
Because I like history and old Japan, so this
word makes me think of different time periods in
Japan's history. Also, 時 is my favorite kanji to write
歴史や昔の日本が好き。だから、この言葉で日本のいろいろな時代を想像
する。『時』は私の一番好きな漢字です。
Renee Stokes(オーストラリア)

日本語サークルで 私たちこんな風に 学習しています

◆稲葉奈央さん(日本) & 佐々木ジョアンさん(フィリピン)

『テキストは絵本です』

「『ママ、漢字も読めるんだね!!』と息子から言われたことがとても嬉しかった。息子が大好きな絵本をたくさん読めるようになりたいんです」と話すジョアンさんは、児童向けの絵本を使って日本語の学習をしています。稲葉さんは『絵本を読むだけでなく、本文に出てきた漢字や単語をノートに書き出し、それを家で覚えてきてもらっている。ジョアンさんの熱心さにはいつも感心させられ、自分も頑張ろう!と元気をもらっている』と話してくれました。



ジョアンさん(左)と稲葉さん(右)

◆伊藤正英さん(日本) & アニシモフ ダニイル君(ロシア)

『次のレッスンまでに意味の知らない言葉を書き出しておく』



伊藤さん(左)とダニイル君(右)

小学校に通うダニイル君。学校の漢字テストなどで知らない言葉があると、いつもノートに書きとめています。レッスンでは、ダニイル君がボードにその言葉を書き出すと、伊藤先生が意味を丁寧に教えていきます。「質問できるし、分からなかったことが分かるようになる。面白い」とダニイル君。伊藤さんは「ゲームをもり込んだり、学校のことなども話しながら、レッスン中、ダニイル君が飽きることはないよう、楽しく勉強を続けています」と話してくれました。

～日本語サークル卒業後～

◆水野直子さん(日本) & 鄭楽梅さん(中国)

「子ども向けのニュースなどを教材に使いながら『あなたの国ではどう?』と尋ね合いながら話が進んでいく。学習というだけでなく、異文化交流だった。お互いに教え合いながら学習できてたように感じます」と水野さん。

レッスン以外では一緒にYICのイベントに参加するなど、友達としての関係も深めてきた水野さんと鄭さん。日本語能力検定1級に合格し、日本語サークルを卒業した今でも、水野さんがYIC外国語講座を受講しに来る金曜日には、鄭さんも息子の観君を連れてYICへやって来ます。

「これからも友達として関係を続けていきたい。もし日本語サークルで勉強する機会があれば、ぜひまたやりたい。まだ習うことはたくさんあるから」YICで始まった交流、これからも永く続くことを願います。



水野さん(左)、鄭さん(右)と
観君(中央)

おもしろエピソード

さしいれ

真面弘子さん(日本)

イカさんとの学習を始めて数か月のある日、彼女が片手にお椀を持って教室に入ってきたのでビックリ!!

なんと彼女の出身国インドネシアのスープを私のために作ってきたとか。土色の見かけより、はるかに美味しかったです。それにしても、近鉄電車の中で片手にバック、もう一方の手でこぼれないようにラップしたお椀を持って座っている姿を想像しただけで笑えるやら有り難いやら。未だにその光景が目に残り、彼女の優しい心遣いが伝わってきます。



8年ぶりの再会者

山下勇さん(日本)

2008年1月16日、YICスタッフから紹介された私にとって14人目の生徒がフランクリンでした。アッと驚きました!

何と、その8年前の2000年3月、フィリピンへ国際交流行事で出掛けた際、マニラでIATSS FORUM(国際交通安全学会)のフィリピン同窓生たちが催してくれたある銀行家の自宅でのガーデンパーティーで同席した人でした。

来日して、英語講師をしているとのこと。彼とのコンビは3年になり、まだ続きそうです。

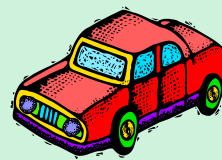
クルマデ

高橋 臣子さん(日本)

ある大雪の日のことです。「ここへ来るまで大変だった」とスティーブに言うと、彼は「えっ!?ココヘクルマ!?」と驚いて、突然立ち上がり、窓から外を見て、あわてています。

どうやらスティーブは「ここへ車が(乗りこんで)来る!」と勘違いしたらしい。

「来るまで」と「車で」違いでした。なるほどね~



のぞきみ☆外国語講座

いつも熱心、そしてアットホームな雰囲気のポルトガル語入門講座の皆さんに突撃インタビュー!

Q. 受講者の皆さん、なぜポルトガル語講座を受けようと思いましたか?

「隣に住んでいる人がブラジル出身。また、子どもの幼稚園にもポルトガル語を話す子どもがいて、そのお母さんとも仲良くなりたいと思ったことがきっかけ」

「南米のサッカー中継を見ていて、現地人のポルトガル語での解説を通訳なしで理解したいと思ったから」

Q. 講座はどうですか?

受講者 「休んだ時も後で補習をしてくれたり、質問にも丁寧に答えてくれる熱心な先生で勉強が楽しい」

「少人数クラスなので、話しやすい」

だから

高良先生 「初めは緊張のあまり、授業の終わる時間を間違えそうになったり、逃げ出したいとも思った。でも、回を重ねるごとに、受講者と自分の息が合ってくるのを感じ、授業をどう進めるべきかわかってきた。皆さん一所懸命に取り組むので、自分のやる気も出る。やりがいもあります」

Q. (受講者へ)習ったポルトガル語を使うことはありますか?

「話す機会はまだないが、街で出会うブラジル人達の会話に、耳をかたむけるようになった。またいくらか単語を聞きとれるようになった」

「幼稚園に通う娘が在日ブラジル人の友達からもらった手紙に、ポルトガル語で返事を書けるようになった」

ブラジルの人が多く住む四日市。地域に住むブラジルの人たちとつながりや交流を持てたい、という受講者たちの前向きな姿が印象的でした。



講師の高良エドアルド先生



平成22年夏、四日市市から公募で選ばれた高校生2名、小学校教諭1名の3名を、アメリカ合衆国ロングビーチ市へ派遣しました。（四日市市からの受託事業）

Meeting Mayor

Session

FUN!

Beach Party

西村美香

加藤真由

竹之下龍一

この派遣事業で私が感じたのは「おもてなしの心」。これからは、自分がしてもらって嬉しかった事を子どもをはじめとする周りの人々に伝えていきたいと思います。その1つにスマイル！私がニコッと笑うと相手がニコッと返してくれること。これこそ、コミュニケーションの基本だと感じました。

ロングビーチでは、当たり前と思っていることが当たり前でなくて、色んな考えに触れ合って、自分の考え方を変わってくれました。これからは、もっと様々な事に挑戦して、もっと多くの事を吸収して、多くの人に様々な世界を知ってもらえるような情報を発信していける人になりたいです。

僕は、どこの国の人でも接する際には、英語力はもちろんこと、人間的な大きさ（人格、経験の深さ、コミュニケーション能力など）が一番大事だと痛感しました。なので、国内の大学に進学して、色んな人と触れ合う中で見聞を広めていくのが目標です。

Disneyland

YICから世界へ

とある日の日記より

葛巻利恵さん

YIC日本語サークルのボランティアとして活動後、2010年12月よりベトナム ハノイで日本語教師として活躍中。



葛巻さん

先週、日本に行く予定の実習生が、事務所へお礼のあいさつに来了。皆、わりとベトナム語でお礼言っていくので、いつも「何を言ってるのかな？」と思いながら聞いていたけど。（最後「ありがとうございました」だけ日本語・・・）

その子は、つたない日本語ながらも短い文で、感謝の気持ちを先生達に伝えた。本当に短

い。でも、彼女の気持ちがこもっていた。やはり「きもち」や「こころ」は、「ことば」をこえるものだな。

最後は、ことばではなく心が大切なのだと、改めてその子からまた気付かされました。ことばを教えるだけじゃいけない。ことばのうしろにあるものを教えていかなくては！

編集後記

今年度もボランティアの皆様、利用者の皆様にたくさん支えられ、各種事業を行うことができました。ありがとうございました。これからも、YICでの出会い一つ一つを大切に、皆が国際交流をするきっかけづくり、そして交流の場を作っていきたいと思います。（YICスタッフ）

事務局

〒510-8601
三重県四日市市諏訪町1-5
四日市市庁舎北館 5F
TEL 059-353-9955
FAX 059-355-5931
E-mail yic@yokkaichi-shinko.com
URL <http://www.yokkaichi-shinko.com/yic/>
開館 9:00~17:30（火曜日、祝日、年末年始 閉館）

